

リーディングDXスクール事業【実践事例】

高知市立浦戸小学校（高知県）【指定校】

【取組内容】 家庭での学びを授業で共有②

中高学年はデジタルドリルによる学習に加え、「課題型持ち帰り」をおこない、授業での調べ学習等を家庭学習として取り組んでいる。持ち帰った課題を翌日の学習や次單元において児童同士が見合うことで、学びを深める時間を十分に確保することができる。

3年生 社会科「火事からくらしをまもる」

家で火事から身を守るためにどんなことをしているか調べよう。



【家庭にて】

家庭で行っている火事に対する取組を調べる

【学校にて】

「火事が起きる前の対策」と「火事が起きた後の行動」にグルーピング

→火事に対する対策が少ないことに気づき、何ができるかを考えた

【家庭にて】

身近にあるユニバーサルデザインを取り入れたものの写真を撮り、機能をまとめる

【学校にて】

それぞれの児童がまとめてきたものを共有する
→みんなで見合うことで、一人では気付かなかった工夫を知り、学びを深めることができた

5年生 社会科「未来をつくり出す工業生産」

